

# 各県だより

このコーナーでは、各都府県方面組合から寄せられた、全国の組合、ホール等による各種の社会貢献・寄付活動を毎月紹介しています。

## 各都府県方面組合による社会貢献活動

### 顕彰／表彰／感謝状授与

#### 神奈川

厚生労働大臣、神奈川県知事及び神奈川県共同募金会会長から感謝状授与

#### 神奈川県

遊技場協同組合を中心に県内の遊技関連事業者の社会貢献活動を展開する神奈川県福祉事業協会（伊坂重憲会長）は、平成30年度共同募金運動への寄付に対し、2019年6月27日（木）、厚生労働大臣、神奈川県知事及び神奈川県共同募金会会長から感謝状が授与された。



同県遊協と同協会は、共同募金会への様々な支援を継続しており、1990年からは継続して共同募金運動への寄付を行っている。

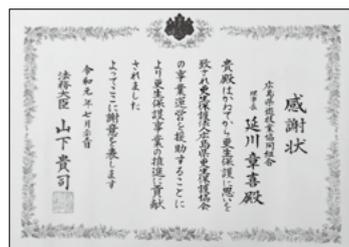
#### 広島

### 法務大臣から感謝状授与

#### 広島県遊技業協同組合（延川章

### 喜理事長）

は、2019年7月25日（木）、長年にわたり更生保護法人広島県更生保護協会の事業運営を援助することによって更生保護事業の推進に貢献したとして、法務大臣から感謝状が授与された。



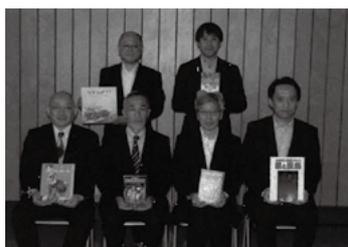
### 寄付／寄贈

#### 千葉

児童養護施設16カ所に図書

千葉県遊技業協同組合（田中幸也理事長）は、2019年5月21日（火）、第22回千葉パチンコ・パチスロフェスティバルの幹事商社であるそごう・西武と連携し、県内の児童養護施設16カ所に図書や児童書等を「夢まる図書」として寄贈した。

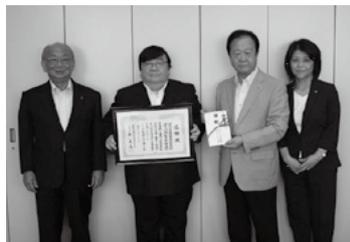
当日、成田市所在の児童養護施設で寄贈式が行われ、寄贈に対し、受贈施設代表者から謝辞が述べら



### 神奈川

### 「車いす空の旅」に協賛

神奈川県遊技場協同組合（伊坂重憲理事長）と神奈川県福祉事業協会は、神奈川県新聞厚生文化事業団が行っている「車いす空の旅事業」に協賛し、2019年6月27日（木）に協賛金を寄付した。寄付に対し同事業団から感謝状が授与された。



「車いす空の旅」は、同事業団が主催して毎年行っている事業で、車いすで生活している障がい児者とその家族を沖縄、北海道への空の旅に招待しているもので、同県遊協と同協会は1989年から継続して支援を続けている。

#### 広島

### 児童養護施設に図書を寄贈

同県遊協は、2014年から毎年、暑中見舞い葉書「かもめーる葉書」を利用し、特殊詐欺の被害や交

### 広島県遊技業協同組合（延川章喜理事長）は、

6月実施の県ファン感謝デーに併せて社会貢献活動の一環として、2019年7月5日（金）、そごう・西武と協力し、県内全域の児童養護施設に図書を寄贈することとし、先立って広島市所在の児童養護施設で贈呈式を行った。

#### 愛媛

### 「防犯啓発」かもめーる」を寄贈

愛媛県遊技業協同組合（川井義廣理事長）は、2019年7月11日（木）、愛媛県防犯協会連合会に対し、地域の自転車盗難被害を防止するための啓発活動に活用する暑中見舞い葉書「かもめーる」1万枚を寄贈した。



交通事故防止を呼びかけるため、県防犯協会連合会や交通安全協会に葉書の寄贈を続けている。

今年度は、

学生街である松山城北地区で多発している自転車盗難被害を防止する目的の「かめーる」を制作し寄贈した。



防犯/防災活動

鹿児島

組合員ホール一斉防犯パトロールを実施

鹿児島県遊技業協同組合(山室克己理事長)は、2019年6月28日(水)、同県遊協鹿児島支部加盟54店舗の店内、駐車場、周辺道路の一斉パトロールを実施した。

今回のパトロールは、夏に備え、駐車車両内への子ども放置等、生命にかかるとなる重大な事故等につながるおそれのある事案の発生が危惧されることから、ホール関係者自らが店舗、駐車場、周辺道路等において一斉にパトロールを行うことにより、店舗関係者の営業に係る事件・事故防止意識を高めるとともに、重大事故につながるおそれのある

子どもの車内放置等の防止を図り、併せて店舗内における置き引き、駐車場等における車上狙い、自転車・オートバイ

盗等の犯罪についても注意喚起を行うもの。

鹿児島市内全店舗について、方面別の班ごとに、店舗ごとに3

〜4人の従業員が防犯パトロール用腕章、帽子及びチョッキを着用し、駐車場等のパトロールを行うとともに、県遊協キックラクターを掲載した広報用ポケットティッシュを遊技客に手渡しし注意喚起を行ったほか、店内放送により「車内放置事故防止」と「置き引き防止」、「車上狙い被害防止」等と呼びかけた。



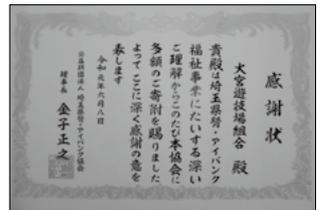
支部組合・組合員ホールによる社会貢献活動

顕彰/表彰/感謝状授与

埼玉

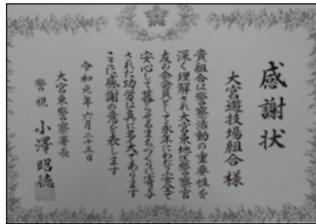
県腎・アイバンク協会から感謝状授与

埼玉県遊技業協同組合傘下の大宮遊技場組合(密山祥赫組合長)は、2019年6月8日(土)、埼玉県腎・アイバンク協会から、福祉事業に対する深い理解を示し、その発展のため寄付等の多大な貢献をしたことが評価され、同協会理事長から感謝状が授与された。



所轄警察署長から感謝状授与

同組合は、2019年6月25日(火)、警察官友の会会員として永年になたり安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与したとして、大宮東警察署長から感謝状が授与された。



防犯/防災活動

鹿児島

店舗管理者対象の救命講習会を実施

鹿児島県遊技業協同組合参加の鹿児島市遊技事業組合(手崎

朋彦組合長)は、は、2019年6月26日(水)、市内会議室において、鹿児島市消防局から講師を招聘し、AED



等を活用した救命講習会を実施した。組合員51店舗76名が講習会に参加した。

当日は、鹿児島市消防局から救命士ら消防局職員4名、救命ボランティア4名の講師を招聘し、「救命入門コース」として、救急救命士による講話の後、心肺蘇生法、AED取扱いの実技講習を受講した。

同県遊協では、全組合員店舗にAEDを設置し、遊技客及び周辺住民等の緊急事態に備えている。

お詫び

本誌7月号表紙に記載事項につきまして誤りがありました。深くお詫び申し上げます。

(誤)「第28回全国パチンコ・パチスロファン感謝デー」セット賞品のご案内

(正)「第29回全国パチンコ・パチスロファン感謝デー」セット賞品のご案内

## 「神奈川県 動物愛護センター」が開所 神遊協も建設資金の一部を寄付

神奈川県内の犬・猫の適切な環境で保護するにも目的とした「神奈川県動物愛護センター」(平塚市)が2019年6月1日(土)に竣工・開所した。

神奈川県遊技場協同組合(伊坂重憲理事長)と神奈川県福祉事業協会(伊坂重憲会長)は、神奈川県が行う各種事業の支援を継続して行っているが、同センター建設に際しては、県生活衛生課からの「動物保護センター建設基金」への寄付の呼びかけに応じ、2017年度に老朽化した神奈川県動物保護センター1建替の基金として500万円を寄付した。

現在、神奈川県では、保護した動物(犬・猫)は里親を探して、5年間にわたり殺処分ゼロを継続しており、新設されたセンターは、かつての動物を処分する施設から生かすための施設と位置付け、殺処分用の設備は置かず、空調完備の犬の個室や猫室、譲渡希望者が動物とふれ合う「譲渡ルーム」などを備えている。



## 全日遊連 障がい者雇用の更なる促進に向け 第2回講習会を7月25日(木)大阪にて開催

全日遊連では、昨年より総務委員会並びに遊技業障がい者雇用促進会議等で障がい者雇用促進に向けた方策を検討しています。そうした取組の一環として今年2月には「障がい者雇用促進講習会」を東京で開催しました。東京講習会の受講者からのアンケートでの要望、また全日遊連における会議等で同講習会を東京以外の都市でも開催すべきではないか、との意見が多かったことから、今回、その第2回として、7月25日(木)大阪府社会福祉会館において障がい者雇用促進講習会を開催し、総勢50名のホール企業人事担当者等が参加しました。

第1部の基調講演では、中央障害者雇用情報センター 障害者雇用支援ネットワークコーディネーター 荒井一雄氏から、「障害者雇用を進めるために」と題した講演があり、障がい者雇用の社会的背景と意義、障がいの定義と代表的な特性(身体・知的・精神・発達等)、障害者雇用促進法に基づく雇用率制度や納付金制度、そして実際の雇用状況から垣間見られる課題等について紹介がありました。

続いて、大阪障害者職業センター所長 佐藤伸司氏から、「障害者雇用を進める際の就労支援機関の活用」と題した講演があり、地元大阪における障害者雇用の現状や相談機関の窓口等についての



荒井 一雄氏



佐藤 伸司氏



登壇したパネラーの方々



講習会の模様

概要説明がありました。

第2部のパネルディスカッションでは、障がい者雇用を既に行っているホール企業関係者4名がパネラーとして登壇し、自社における障がい者雇用の実例を資料や動画を交え紹介しました。パネラーは、SAPハピネス(株)林 善宏氏、(株)アスカ黒田 亘氏、(株)マルハン安部 巖氏、延田グループ 一色 豪氏の4名で、司会進行は全日遊連 森 治彦 事務局長が務めました。

パネラーからは、実際にホールにおいて障がい者の方が働いている動画や作業項目のチェックシートの紹介、障がい者を雇用するに至るまでの経緯と実際に雇用してからの感想、障がい者の方が職場にいることによる職場環境の変化等が紹介され、実際の現場のイメージを分かりやすく受講者に伝えました。

障がい者雇用の促進に向けては、動き出すためのきっかけが必要です。その第一歩を踏み出す気持ちの輪が広がるのが、共生社会の実現に向けた力となります。全日遊連では、今後もこの気持ちの輪を拡げる活動を継続していきます。